

2000「植村直己冒険賞」受賞者



神田道夫
埼玉県川島町

熱気球でヒマラヤ・ナンガパルバット(8125m)越えに成功

趣旨

2000年10月に熱気球でパキスタン東部ヒマラヤ山系西端のナンガパルバット峰（標高8125m）越えに成功した。熱気球による8000m級の山越えは日本人初、世界でも1991年に英豪チームがエベレストを越えて以来2例目の快挙である。

テレビ番組で熱気球がニュージーランドのクック山を越えるのを観て感動し、気球に興味を持った。2年後に気球のライセンスを取得し、未知の世界での飛行を求め、いつかはエベレスト越えを実現させたいという夢を持っている。

冒険内容

熱気球「マンボウ号」で、10月14日午前7時7分（現地時間）にパキスタン東部にあるナンガパルバット峰西麓のチラス村を離陸、ナンガパルバット頂上（8125m）のやや南を通過し、同10時15分、無事にインド国境に近いデオサイ高原のパキスタン軍基地に着陸した。



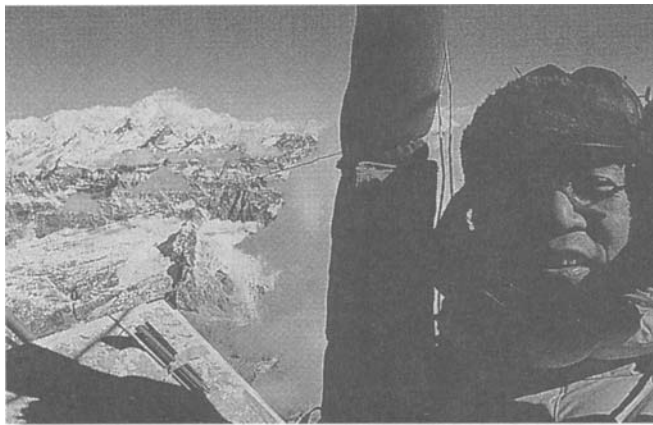
〈ヒマラヤ・ナンガパルバット越えに挑戦〉

チラスからの離陸。気球関係者や地元の人たちにお礼の手を振る。（2000年）

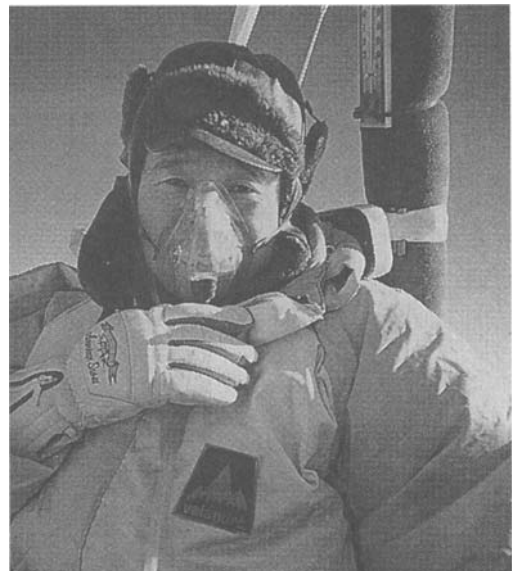


〈ヒマラヤ・ナンガパルバット越え〉

着陸したインド・パキスタン国境近くのヤレ村の尾根で国境警備兵と記念撮影。（2000年）



ヒマラヤのナンガパルバット峰を背景に撮影



〈オーストラリアでの長距離世界記録に挑戦〉
オーストラリア大陸を飛行中の神田機長(1994年)



〈オーストラリアでの長距離世界記録に挑戦〉
長距離を飛ぶための器材。高度は6000～8000mの
高さとなるため、各種器材も保温対策に気を配っ
ている。(1994年)

冒険経歴

- 1988年 中量級の熱気球で、岐阜県神岡町から宇都宮市まで約230キロを飛んで、途中高度12910mの世界記録を達成
- 1994年 重量級の熱気球に乗って、オーストラリア2366.1kmの長距離世界記録を樹立
- 1997年 カナダでこれまでの記録を約9時間伸ばして50時間38分の滞空時間世界記録を樹立

2000 冒険情報一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	30	51	12	3	1	1	2	100
団体活動	72	4	5	0	0	3	0	84
合計	102	55	17	3	1	4	2	184